

令和2年度 「子供司書」養成講座全体研修

- 日時：令和2年7月18日（土） 9：30～12：00
- 場所：庄原市田園文化センター
- 対象者：「子供司書」養成講座受講者17名（庄原市内小学校第5・6学年希望者）

目的

児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

講話 「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和



【講話の概要】

- 「子供司書」の役割は、子供の読書活動を進めるリーダーである。読書の楽しさを周りの友達に伝え、読書を好きになってもらうことが大切である。
- 「子供司書」に認証されるためには、全体研修と地域の図書館での実地研修、学校での活動を行うことが必要である。
- 日本十進分類法では、0類から9類までの10の категорияで本の種類が分けられている。

講話・演習 「読み聞かせのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐



【講話・演習の概要】

- 読み聞かせをする際に、だれに対して読むのか、どんな本を読むのかという本の選書がとても重要である。
- 絵本の読み聞かせは、絵をしっかりと見せることが大切である。本を持つ際や本をめくる際に、手で絵を隠さないよう留意する必要がある。
- 聞き手の視線と本の高さや向きに留意する必要がある。聞き手が椅子に座っている場合は立って、聞き手が床に座っている場合は、椅子に座って読み聞かせをするとよい。



講話 「ポップの作り方を学ぼう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和



【講話の概要】

〇①タイトルや作者名をはっきり分かりやすく書く、②内容を少しだけ紹介する、③キャッチコピーを書く、④輝く言葉を引用する、⑤デザインやイラストを工夫する、⑥どうおもしろいかを書く、といった6つのポイントによって、魅力的なポップとなることを確認した。

参加した児童の感想

- ・「読み聞かせのプロから学ぼう！」では、最初、「かんたんに行ける。」と思っていたけれど、実際やってみると一冊読むだけで手はカタカタになったり、文字が読みにくくなりました。とても難しく、改めて、子供司書になるのは難しいと思いました。
- ・ポップを作ったり、自分のしたいことを積極的に行ったりすることで、たくさんの人に本を好きになってもらえると思いました。読み聞かせ方や自主的な活動で、しっかり成長できるようにしたいです。
- ・読み聞かせでは、指の位置や持ち方を意識することで、安定して絵を見せることができるようになりました。これから学校の委員会活動以外でも本の読み聞かせやポップづくりをしていきたいです。